



2021年2月5日

各位

会社名 日東紡
代表者名 取締役代表執行役社長 辻 裕一
(コード:3110、東証第1部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 宮田 毅
(電話番号 03-4582-5040)

(開示事項の経過) 繊維事業の構造改革について

当社は、2020年12月10日付「繊維事業の構造改革について」にて公表いたしましたように、繊維事業の構造改革について労働組合と協議を行ってまいりました。今般、労働組合と合意に至り、本日開催の取締役会で繊維事業の構造改革について決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 構造改革の理由

当社の繊維事業は業績の低迷が続いており、これまでも収益改善に向け、中国生産子会社の譲渡や国内生産拠点へのリソース集約、コスト削減等に取り組んでまいりましたが、従前の取り組みの延長線では対応できないとの認識のもと、抜本的な事業構造改革が必要であると判断いたしました。

2. 構造改革の内容

(1) 原糸事業からの撤退(100%子会社 ニットーボー新潟株式会社の解散)

原糸事業の製販子会社であるニットーボー新潟株式会社を2022年3月末(予定)で解散し、清算することとしました。なお、ロングセラー商品「日東紡の新しいふきん」の製造・販売は、芯地事業を継承する新設子会社に移管することで継続いたします。

<ニットーボー新潟株式会社 概要>

(1) 名称	ニットーボー新潟株式会社
(2) 所在地	新潟県新潟市東区東新町6-50
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 東城 浩雄
(4) 事業内容	紡績糸・縫製品・資材製品の製造・販売
(5) 資本金	50百万円
(6) 設立年月日	2005年10月1日
(7) 大株主及び持ち株比率	日東紡 100%

(2) 芯地事業の再構築

芯地事業は高級婦人服等のマーケット縮小に伴う売上減少が続いており、2019年5月に在中国の日東紡（中国）有限公司を売却し、伊丹生産センターへの生産集約を行うことで効率化を図ってまいりましたが、コロナ禍により市場の落ち込みが続く中、収益改善に向け、抜本的な体制の見直しが必要と判断いたしました。

独自の接着技術を活用し、衣料品のみならず産業資材・生活資材も含めた顧客ニーズに迅速に対応すべく、日東紡本体から事業を切り離して経営に一層の機動性を持たせるため、開発・製造・販売を一体運営する新子会社を2021年4月1日に設立いたします。芯地事業に関わる従業員は当子会社に転籍し、同年7月1日より事業運営を開始する予定です。

<新子会社 概要>

(1)	名称	日東紡アドバンテックス株式会社
(2)	所在地	兵庫県伊丹市桑津 1-6-1
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 多田 弘行
(4)	事業内容	繊維製品、生活資材、産業資材等の製品の製造、加工、販売
(5)	資本金	80 百万円
(6)	設立年月日	2021 年 4 月 1 日
	事業開始	2021 年 7 月 1 日
(7)	大株主及び持ち株比率	日東紡 100%

3. 業績への影響

当構造改革の実施に係る費用として、2021年3月期第3四半期決算において約8億円を特別損失に計上いたしました。今後発生する可能性のある費用については現在精査中であり、業績への重大な影響が見込まれると判断された場合には、速やかにお知らせいたします。

以上